

【高等学校用】

令和7年度学校評価計画

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名 佐賀県立唐津工業高等学校

1 前年度 評価結果の概要
・生徒の多様化や自然環境の変化、災害等へ対応するため、ICT機器を積極的に活用し、オンラインによる集会や講演会・授業等がスムーズに実施できた。次年度も定期的に研修会を計画し、技術の向上に努めていきたい。
・数学会や各種小テストによる基礎学力向上への取り組みは、生徒の進路目標に関わるため、これからも継続して取り組んでいきたい。
・生徒指導面では生徒のモラルの低下が懸念されており、各科と各学年の連携を密にしながら、全職員で組織的に指導に当たった。本校独自の取り組みである「ヒューマントレーニング」の教育的効果は、道徳心の育成やマナーの醸成に繋がっており、さらなる向上を目指し実践し続けたい。
・校内の環境美化を徹底し、整理整頓を心掛けさせることで落ち着いた学習環境をつくり出していきたい。
・ものづくりによる「地域連携・地域貢献活動」を積極的にに行った。これからもものづくりを通して地域に貢献するとともに、職業人としての倫理観を養い、社会人に必要とされる技術の習得を目指す。

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標
○唐津の地域に根ざし、これからの時代に必要とされる工業教育の実践に取り組み、工業界や地域社会の発展に貢献できる、広い視野を持った人材を育成する。

3 スクール・ポリシー
アドミッション・ポリシー
1 「ものづくりによる人づくり」「部活動等による人づくり」の経営ビジョンを掲げ、ものづくりに関心があり、生徒会活動や部活動において実績があり、リーダーシップを発揮できる生徒。
2 向上心があり、ルールやマナーを守る規範意識を身につけ、また、思いやりの心を持ち、仲間と協力して高校生活を過ごせる生徒。
カリキュラム・ポリシー
1 ものづくりマイスターによる指導など実践的な技術教育に取り組む。
2 進路実現のための資格取得を推奨し、ジュニアマイスターの育成に取り組む。
3 規範意識の向上を目指し、全校生徒による地域貢献やボランティア活動を実施する。
グラデュエーション・ポリシー
1 地域に根ざし必要とされる学校。学習により身につけた技術・技能を地域に還元することで成果を確認し自信につなげる。
2 佐賀に誇りを持ち、地域の課題解決に取り組み、産業や伝統芸能を支え、地域に貢献する人材を育成する。
3 規範意識や社会性を身につけ、職業人として必要な資質や態度を育成する。

4 本年度の重点目標
① 全ての生徒が安心して学習でき安全に生活できる学校
② 生徒に夢を持たせ夢を育み夢の実現に向けて歩ませ全力でサポートする学校
③ 地域に根ざし保護者や地域との協力連携を深め信頼される学校
④ 生徒は真剣な態度で授業を受け教師は分かる授業を実践する学校
⑤ 必要な常識・規範意識・道徳心・基礎的な知識・技術を身につけさせる学校

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目
評価項目 重点取組 成果指標(数値目標) 具体的取組
●学力の向上
○基礎学力の定着と夢の実現(志を高める教育)
○生徒に確かな基礎学力を身に付けさせ、進路実現100%を達成する。
●心の教育
●自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心、工業高校生としての自覚など、豊かな心を身に付ける教育活動
○地元唐津における唯一の工業高校生としての自覚を持ち、自身の学校に誇りを持つ生徒の割合を75%以上を目指す。
○ものづくりによる「地域連携・地域貢献活動」を通して、ものづくりの魅力を理解し安全面に配慮できる、豊かな心を身に付けることを目指す。
○ふるさと佐賀への思いと地元唐津を愛する心を醸成するための教育活動
○アンケート「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どこからかという感じる」と回答した生徒75%以上を目指す。
○郷土の人材を活用した講演会等、年間1回以上を取り組む。
●健康・体づくり
●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成
○自らの健康に気を付け、問題を改善しようとする態度や実践力の育成
●「健康に良い食事をして」生徒80%以上
○「食事が健康に与える影響」を理解している生徒80%以上
○朝食をとって登校する生徒80%以上
○健康診断後の受診率の向上を図る。(受診率20%以上を目指す)
○学校感染症による出席停止率を20%以下にする。
○スマートフォンが心身に与える影響を理解させる。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進
●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減
●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。
●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上
●特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上
○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員90%以上
●特別支援教育に関する研修会の実施
●ケース会議の開催、関係者間での情報共有

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
評価項目 重点取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組
○特別活動
○部活動等による人づくり
○1年生の部活動参加率80%を目指す。
○部室等の公共施設の利用を通し、マナーやモラルの向上を身に付ける。
○地域連携活動
○地域活動への協力・協働・参加
★ものづくりによる「地域連携・地域貢献活動」を選した人づくり
○相互間の信頼関係の構築
★本校の特色や魅力を中学生や保護者に発信する。
○唐津地区のイベント等に可能な限り、参加・協力する。
★各科の特色を生かす。
★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合75%以上。教職員の割合75%以上
★県外からの入学者数3人以上
●活動を活かすため、入部を促進し部活動による人づくりを図る。また、顧問のできる限りの指導を通し、部活動による達成感を得るようにする。
●学期末ごとに、部室点検を行い、部室の整理整頓を徹底に行う。
●各科の特色を生かした地域連携・地域貢献活動に参加・協力する。自らの学習成果を試す場、確認する場とし、生徒たちの達成感と自己肯定感を高めるとともに、工業教育の魅力や地域に知ってもらう機会とする。
●ハイスクールテクノフエスタやハイスクールウェビナー、高校進路説明会、体験入学などいろんな機会を通してPRする。

6 総合評価・次年度への展望